



石川 道子

いしかわ みちこ

1976年名古屋大学医学部卒業。78年名古屋市立大学医学部小児科学教室入局。名古屋市児童福祉センター、愛知県心身障害者コロニー発達研究所などを経て、現職(2004年9月に名古屋市西部地域療育センター所長を退職)。

専門は発達障害、障害児療育など。

著書に、『子供の不器用さ』(ブレーン出版、1999)、『高機能広汎性発達障害』(ブレーン出版、1999)、『学習障害』(ブレーン出版、2000)、『可能性ある子供たちの医学と心理学』(ブレーン出版、2002)、『アスペルガーと高機能自閉症の理解とサポート』(学研、2002)、『いずれも分担執筆』など。

私は小児科医で、小児の発達を中心に診療してきました。こころの問題、コミュニケーションの問題という幅が非常に広がるため、ここでは自閉症と呼ばれているお子さんたちの行動の不思議さを、脳の機能とからめてお伝えしたいと思います。

子どもの脳の障害は、どんなときにわかるのか

脳の機能を調べるアプローチとしてはいろいろありますが、私は、通常であればできるはずのことができなくなっている、すなわち障害といわれる状態から、普段行っている行動に、脳のどのような機能が必要であるかを推察するアプローチをとっています。

大人の障害は、ある意味で、わかりやすいものです。これまでできていたことが、何らかの病気できなくなると、どこかの病気が原因であるかがはっきりとわかります。しかし、子どもの障害はそのようなわけにいきません。しかるべき時期に、しかるべきことができなといったかたちで障害に気づくこととなります。一般的に、子どもがある年齢に達すると、あることができるという前提、つまり物差しがあります。その物差しをもとに、その年齢に達してもそれができないときに障害が疑われます。たとえば、一歳ほどで歩けるようになる子が多いのに、一歳すぎても歩けるようになら

なかったり、一歳半ほどから周りの子はお話しができるようになっていのに、一歳半になってもお話しができないといったとき、通常の発達をとげていないことから障害とされます。長い経過をみないと、発達が通常コースであるかどうかはわかりません。

子どもたちの長い経過をみるためには、自分も長生きをする必要があります。幸いにも私は長生きをしているため、最初のころにみた子どもたちが成人になって、どのように成長されたかをみて(こういう研究をフォローアップ研究といいます)、改めてわかったことも少なくありません。そのあたりの話をしだすと何時間でも話してしまうため、今日は、ほんとうに導入だけを紹介することにします。

精神障害の診断基準

米国精神医学会は、『精神障害の診断と統計マニュアル 第四版(Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders : DSM-Ⅳ)』を作成しています。そのなかで、幼児・小児・青年期、つまり大人になる前に診断される障害として大きな項目だけをとっても、非常に多くの項目がとりあげられています(表1)。一口に学習障害といっても、じつに細かく分類されています。そして、お子さんの何らかの発達に遅れや障害がみら

表 1 DSM- (米国精神医学会による精神障害の分類と診断)による幼児期、小児期または青年期に初めて診断される障害
(「DSM- 精神疾患の分類と診断の手引」医学書院、2003)

- ・精神遅滞 Mental Retardation
- ・学習障害 Learning Disorders(LD)
- ・運動能力障害 Moter Skills Disorders
- ・コミュニケーション障害 Communication Disorders
- ・広汎性発達障害 Pervasive Development Disorders(PDD)
- ・注意欠陥及び破壊的行動障害 Attention-Defect and Disruptive Behavior Disorders
- ・幼児期又は小児期早期の哺育、摂食障害
- ・チック障害 Tic Disorders
- ・排泄障害 Elimination Disorders
- ・幼児期、小児期または青年期の他の障害

れた場合には、これらの項目のなかから診断するようになります。この精神障害のなかには、昨今注目されているいろいろな障害が含まれていますが、それらはあえて無視して、ここではコミュニケーションの部分に絞ることにします。

ちなみに、このマニュアルは第四版であることから、これまでに最低四回の改訂があつたわけです。時代背景によって診断がかわりますが、現在のところ第四版が最新版です。これ以外に『ICD(International Classification of Disease)』という診断基準もあります。それは、世界保健機関(WHO)がだしている疾病分類で、現在十版に達して